

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【教育総務課】		
高等学校建設費	982,453 (958,341)	新耐震基準以前に設計された高等学校について、順次、耐震診断調査結果に基づき、補強工事を実施していく。 また、学校施設の適切な維持のため、施設改修を行う。
国	15,557	1 耐震対策 811,681 (債務負担行為 平成23,24年度 1,062,561)
起	787,500	・耐震化工事 6校 継続工事 4校(虎姫、草津東、瀬田工業、瀬田) 新規工事 2校(八幡、大津商業)
	179,396	・設計 3校
		2 施設改修 21,096 設計・工事(堅田高校屋根改修等) 3件
		3 アスベスト対策 66,280 再調査等により新たにアスベストの使用が判明した箇所に対する設計・工事
		新 4 都市計画道路整備対策 10,636 (債務負担行為 平成23年度 133,000) 東近江市が実施する都市計画道路整備事業に伴い、八日市南高等学校においてグラウンド改修等を実施する必要があることから、これにかかる設計を行う。
		新 5 運動場拡張 72,760 (債務負担行為 平成23,24,25,26年度 258,563) グラウンド拡張のため、県土地開発公社により用地買収され、造成工事が行われるグラウンド敷地を買い戻す。
特別支援学校建設費	19,769 (77,069)	必要な改修等を行い、教育環境の整備を図る。
起	16,200	1 施設改修 12,213 設計・工事(長浜養護学校屋根改修) 1件
	3,569	2 アスベスト対策 7,556 再調査等により新たにアスベストの使用が判明した箇所に対する設計・工事

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教育行政企画調整費	<p>1,474 (1,168)</p> <p>国 306</p> <p>1,168</p>	<p>1 「滋賀 教育の日」推進事業 39</p> <p>11月1日の「滋賀 教育の日」と、その前後の10、11月を中心に各種の関連事業を展開して、県民がそれぞれの立場、場所で教育の場に参加し、ともに支え合う「滋賀の教育」を推進する。</p> <p>2 滋賀の教育改革の推進 666</p> <p>今後の県立高等学校のあり方について、「県立学校のあり方検討委員会」の報告ならびに「滋賀県産業教育審議会」の答申を踏まえ、具体的な計画の策定に向けた取組を進める。</p>
<p>【教職員課】</p> <p>教職員給与費</p>	<p>115,214,613 (115,158,390)</p> <p>国 19,430,696</p> <p>使 3,473,494</p> <p>諸 6,585</p> <p>－ 92,303,838</p>	<p>基礎・基本の確実な定着を図るとともに、児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばすため、少人数学級編制や少人数指導などきめ細かな指導を推進し、また、いじめや不登校をはじめとした喫緊の教育課題に対する指導の充実を図る。</p> <p>1 少人数学級編制</p> <p>(1) 小学校1年生、2年生、3年生および中学校1年生における35人学級編制（小学校にあっては複数指導との選択制）をすべての小中学校で実施する。</p> <p>・継続 小学校 教員 129人 非常勤講師 78人（週15時間）</p> <p>中学校 教員 80人</p> <p>(2) 小学校4年生から6年生における少人数学級編制の実施</p> <p>個に応じたきめ細かな指導を図り、特色ある学校教育を進めるため、学校の実情に応じて、選択により小学校4年生から6年生のうち、1つの学年において少人数学級編制が実施できるよう、必要な教職員の配置を行う。</p> <p>・継続 小学校 教員 79人</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明			
		教職員定数 単位：人			
			22年度(A)	21年度(B)	増減(A-B)
小 学 校		校長教諭等	4,722	4,666	56
		養護教諭	252	252	0
		栄養教諭・ 栄養職員	64	67	3
		事務職員	258	252	6
		小計	5,296	5,237	59
中 学 校		校長教諭等	2,715	2,701	14
		養護教諭	103	103	0
		栄養教諭・ 栄養職員	11	12	1
		事務職員	120	116	4
		小計	2,949	2,932	17
高 等 学 校		校長教諭等	2,269	2,241	28
		上記以外の職員	452	463	11
		小計	2,721	2,704	17
特 別 支 援 学 校		校長教諭等	958	941	17
		上記以外の職員	171	167	4
		小計	1,129	1,108	21
		合計	12,095	11,981	114

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【福利課】</p> <p>教職員福利厚生費</p>	<p>146,228 (135,683)</p> <p>繰 362</p> <p>諸 174</p> <p>— 145,692</p>	<p>教職員の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資するため、福利厚生事業を実施する。</p> <p>1 教職員の安全衛生管理体制の推進 59,161</p> <p>2 公立学校共済組合運営費 84,255</p>
<p>【学校教育課】</p> <p>生徒指導対策費</p>	<p>153,900 (197,415)</p> <p>国 86,040</p> <p>⊖ 67,860</p>	<p>不登校、いじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題への対策として、児童生徒や保護者に対する相談・指導体制を充実する。</p> <p>1 スクールカウンセラー等活用事業 70,363</p> <p>スクールカウンセラーの配置 ・中学校：100校 ・県立学校：重点校7校（地域拠点）、その他39校</p> <p>2 生徒指導緊急特別対応事業 9,000</p> <p>暴力行為等課題の大きな学校への支援を行うため、警察OBと教員OBをチームとして学校へ派遣し、学校と関係機関との一層の連携強化を推進するとともに、学校に対して問題を起こす児童生徒やその保護者への対応の指導助言を行う。</p> <p>3 問題を抱える子ども等の自立支援事業 49,734</p> <p>いじめの事案をはじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、学校が抱えている問題の解決が強く迫られている状況の中、未然防止や早期発見、早期対応（訪問指導など）ができる体制づくり、および、子ども達の支援を行う。</p> <p>新 4 スクールソーシャルワーカー活用事業 14,141</p> <p>不登校の課題の大きい小学校にスクールソーシャルワーカーを配置したり、スーパーバイザー等をケース会議に派遣することにより、子ども支援の充実を図るとともに教員の実践力を高める。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																		
		<p>新 5 いじめ対策緊急支援総合事業 8,140</p> <p>いじめに係る学校問題解決支援、未然防止に向けた社会性育成、いじめ根絶運動支援を目的とした取組を行う。</p>																		
<p>高等学校奨学資金貸付事業費</p>	<p>402,256 (330,967)</p> <p>繰 101,497</p> <p>諸 234,081</p> <p>⊖ 66,678</p>	<p>経済的理由により高等学校等へ進学することが困難な者に対して奨学資金を貸与する。</p> <p>1 奨学資金貸付金 388,619</p> <p>貸与者：1,310人(予定)</p> <table border="1" data-bbox="724 846 1321 1084"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学資金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>新 2 滋賀県奨学資金返還金等滞納整理 11,632</p> <p>各種奨学資金の返還金の未収金が増大していることから、緊急雇用創出特別推進事業によって債権回収にあたる人員を緊急的に雇用し、未収金の回収に努める。</p>			自宅通学者	自宅外通学者	奨学資金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり	
		自宅通学者	自宅外通学者																	
奨学資金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																	
	私立	30,000円	35,000円																	
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																		
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり																		

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
特別支援教育振興費	<p>37,672 (28,669)</p> <p>国 6,731</p> <p>繰 14,987</p> <p>⊖ 15,954</p>	<p>一人ひとりの障害の状況に応じた指導を行い、児童生徒が自立し、社会参加をするための基礎となる生きる力を育成する教育を充実する。</p> <p>1 病弱教育等振興費 11,128</p> <p>病気療養児童生徒を対象に、巡回訪問指導教員を派遣し、学習の支援、相談活動等の教育対応を図る。</p> <p>2 要医療的ケア児童生徒学習支援事業 3,905</p> <p>医療的ケアを必要とする児童生徒が参加する修学旅行等の校外行事に看護師を派遣する。</p> <p>3 障害のある生徒の教育活動支援事業 14,987</p> <p>障害により特別な教育的支援が必要となる生徒が在籍する県立中学校、県立高等学校に学校生活サポ - タ - を配置し、学校が作成している特別支援教育の計画に基づいた学習支援ならびに生活支援を行う。</p>
教科等指導対策費	<p>91,363 (93,325)</p> <p>国 8,221</p> <p>諸 68,957</p> <p>⊖ 14,185</p>	<p>子どもたちの発達段階や課題に応じた多様な体験学習の取組などを行う。</p> <p>1 豊かな体験活動推進事業 4,221</p> <p>児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むため、小・中学生には命の大切さを学ばさせる体験活動、長期宿泊体験活動、農山漁村における生活体験活動を、高校生には社会奉仕活動を実施することで、命を大切に作る心や他人を思いやる心、規範意識等の育成を図る。</p> <p>2 中学生チャレンジウィーク事業 512</p> <p>子どもたちが職業観・勤労観をはぐくみ、自らの将来の生き方を見い出していく力を養うため、県立中学生に対し5日以上職場体験を実施する。また、市町においても、職場体験が円滑に行われるよう、関係機関との連携を図るための県支援会議を実施する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>3 理科支援員等配置事業 68,957</p> <p>小学校理科教育の活性化および充実を図るとともに、教員の指導力向上を図るため理科支援員を配置する。</p> <p>4 全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善推進事業 4,000</p> <p>全国学力・学習状況調査の調査結果を活用し、学校の教育施策や教育指導等の改善策を定めたアクションプログラムを策定し、調査活用協力校において学校改善の実践研究を行い、その成果の普及を図る。</p> <p>新 5 言語活動の充実を図る学校活性化推進事業 1,500</p> <p>本県児童生徒の国語に関する学力についての課題を克服し、言語活動の充実のために、指定校を設定しての研究成果を蓄積し、その取組状況等を県内に普及することで、県全体の学力向上に資する。</p>
環境教育推進費	<p>7,814 (7,518)</p> <p>国 4,305</p> <p>⊖ 3,509</p>	<p>1 環境教育研究協議会の実施 114</p> <p>学校教育における環境教育のより一層の推進を図るため、各職種における環境学習の実践事例を交流し、環境学習の在り方等の研究協議等を行う。</p> <p>2 環境教育副読本等開発費 3,395</p> <p>現在、中学校で活用している環境教育副読本「あおい琵琶湖」は、発行から6年を経過し記述内容が古くなっていることから、新教育課程の実施にあわせた環境教育の推進が図れるように改訂を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
国際教育推進費	<p>138,130 (110,149)</p> <p>国 2,400</p> <p>繰 31,380</p> <p>○ 104,350</p>	<p>急速に進展する国際化に対応できる人材を育成するため、ALTの招致や海外との交流事業を実施する。</p> <p>1 語学指導外国青年招致費 101,974</p> <p>外国語指導助手（ALT：19人）を高等学校等に配置し、生徒の外国語理解・コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>2 外国人児童生徒ほっとサポート事業 400</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し、母語を理解できる指導協力者が母語を介して児童生徒やその保護者と円滑なコミュニケーションが図れるように、学校生活や学習などについての支援を行う。</p> <p>3 滋賀県高校生海外ホームステイ体験プログラム 1,865</p> <p>外国での学校・家庭生活の体験により異文化への理解を深め、国際的視野を持たせるとともに、英語運用能力の向上を図ることを目的に県内の高校生を海外に派遣する。</p> <p>高校生海外相互派遣 本県の高校生と米国ミシガン州の高校生各20人を相互に派遣する。</p> <p>4 小学校における英語活動等国際理解活動推進事業 2,400</p> <p>小学校における外国語活動の導入に向けた条件整備を図るため、英語教材を用いた効果的な指導や評価の在り方について実践研究を行う。</p> <p>5 外国人児童生徒等教育支援事業 31,380</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在籍する公立学校等にポルトガル語等が話せる支援員を定期的に派遣し、教育相談や保護者との面談、学習支援等をととして学校生活への適応や効果的な指導の充実を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
情報教育推進費	<p>329,166 (235,235)</p> <p>繰 122,605</p> <p>⊖ 206,561</p>	<p>情報教育の推進に資するため、教科「情報」の展開や、教育情報ネットワークの運用ならびに教育用コンピュータ等の整備を行う。</p> <p>1 教育用コンピュータ等整備 170,462</p> <p>高等学校および特別支援学校において、教育用コンピュータをリースにより計画的に整備する。</p> <p>2 教育情報ネットワーク 36,099</p> <p>びわ湖情報ハイウェイネットを利用して県内小中高等学校等を高速ネットワークで結ぶ「教育情報ネットワーク」を運用する。</p> <p>3 情報教育推進サポーター設置事業 122,605</p> <p>県立学校における情報教育の推進ならびに情報業務を円滑かつ効果的に運営するために、サポーターを設置する。</p>
中学校教育振興費	<p>17,731 (17,731)</p> <p>使 1,033</p> <p>⊖ 16,698</p>	<p>県立中学校における教科指導、特別活動指導等を円滑に推進するとともに、学校活動の充実を図る。</p> <p>県立中学校教科・特別活動費 3,454</p> <p>教科指導、特別活動指導等の円滑な実施のため、教材等を整備する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
高等学校教育設備整備費	89,300 (93,100) 国 4,000 ⊖ 85,300	高等学校における教科用設備を整備する。 1 高等学校教科および特別活動設備整備費 50,300 教科指導、特別活動指導等の円滑な実施のため、機器等を整備する。 2 高等学校図書整備費 25,000 高等学校図書館の蔵書整備を行う。 3 一般実験実習費 6,000 高等学校における実験実習に要する機器を整備する。
高等学校教育振興費	141,099 (128,320) 繰 34,709 ⊖ 106,390	高等学校における教育振興のため各種事業を実施する。 1 一般実験実習費 75,346 高等学校における実験実習に要する教材等を整備する。 2 アクティブハイスクール支援事業 18,400 未来を拓く人材を育成し、情報化・国際化・環境との調和の時代を生き抜く資質を養成するために、高校の特色をより明確にして高校教育を活性化する。 3 県立高等学校求人開拓支援員設置事業 34,709 現在の経済状況の中で高校生の就職活動をバックアップするため、求人開拓が緊急課題となる県立高等学校に支援員を配置する。 新 4 職の担い手育成事業 5,014 工業高校の「クラフトマン21事業（地域産業の担い手育成プロジェクト）」および農業高校の「デュアルシステム実践推進事業」の研究指定の実績を継承し、生徒自らの可能性を高め、社会で活躍する意欲を培い、人生を切り拓き挑戦する気概を育むことを目的として、各校でキャリア教育に取り組む。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
高等学校特別活動推進費	101,482 (71,917) 繰 31,037 ⊖ 70,445	高等学校における特別活動の推進を図るため、文化部活動等を支援する。 1 高等学校文化祭事業 4,194 次代を担う高校生に、創造と表現の喜びを味わわせる文化・芸術活動の発表の機会を与えるため、県・近畿・全国高等学校総合文化祭に対する補助を行う。 2 高校生芸術文化活動支援員設置事業 31,037 芸術文化面における専門的な知識・技能を持った人材を県立高等学校に設置し、文化部活動の支援を行う。
【総合教育センター】 研究調査費	6,573 (6,585) ⊖ 6,573	教育的諸問題の解決への基礎資料を提供するため、教科教育、教育相談の実態調査および実証的調査研究を行う。 特別支援教育支援事業 4,303 発達障害等のある子どもの教育相談業務を行うとともに、専門的知識と技能を持った特別支援教育相談担当者を養成する。
講習会費	1,207 (1,273) ⊖ 1,207	今日的課題や社会の変化に対応した研修・講座を実施し、教員の指導力向上を図る。 指導力向上プログラム 748 教員を対象に授業づくりや学級づくり等を目的とした実践的な研修を行う。 ・授業力アップ講座 4 講座(5日) ・教科等指導力向上講座 10 講座(26日)

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教職員研修費	9,022 (9,022)	<p>教職員の資質向上を図るため、経験・職務に応じた研修を行う。</p> <p>1 マネジメント研修 468</p>
	⊖ 9,022	<p>学校が課題解決に向けて組織的、機動的に対応できる組織体となるため、管理職の経営管理能力の育成と中堅教員のリーダーシップ養成を図る研修を行う。</p> <p>・対象：管理職（小・中・県立学校） 841人 中堅教員（小・中・県立学校） 90人</p> <p>2 新規採用教職員研修 4,797</p> <p>教育公務員としての使命感を高め、専門職としての基礎的な指導力を培うため、サービスと法規、待遇などの一般研修と学級経営や教科研究などの授業研修を行う。</p> <p>・対象：小・中・県立学校 303人 幼稚園 70人 養護教諭 14人 栄養教諭 9人 事務職員 12人</p> <p>3 教職員経験者研修 541</p> <p>新規採用者研修と10年経験者研修をつなぐライフステージ研修として、教職2年次、5年次に応じた基礎的知識・技能・態度を養う研修を行う。</p> <p>2年次 5年次 ・対象：小・中・県立学校 260人 180人</p> <p>4 10年経験者研修 2,760</p> <p>在職期間が10年に達した教員に対して、個々の能力、適性に応じた研修を実施し、教科指導、生徒指導等の指導力の向上を図る。</p> <p>・対象：小・中・県立学校 105人 幼稚園 17人 養護教諭 6人 学校栄養職員 2人</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
情報教育費	<p>44,968 (49,441)</p> <p>⊖ 44,968</p>	<p>1 しが e-センター推進費 25,200</p> <p>e-Learningシステムおよび教育情報システムを活用し、研修、教育、相談を行うとともに教育情報の開発・収集と発信も併せて行う。</p> <p>2 教育情報機器整備費 18,783</p> <p>情報教育を推進するために機器の更新・整備を行い、それらの機器を活用して教職員の能力向上を図る。</p>
<p>【びわ湖フローティングスクール】</p> <p>活動費</p>	<p>35,463 (35,982)</p> <p>⊖ 35,463</p>	<p>フローティングスクールの教育・学習効果を高めるための環境整備を行う。</p> <p>1 児童学習航海（1泊2日） 94航海</p> <p>2 「湖の子」体験航海（1日） 2航海</p> <p>3 特別航海（1日） 1航海</p>
船舶運航管理費	<p>202,699 (227,803)</p> <p>⊖ 202,699</p>	<p>「うみのこ」の船舶の良好な保守管理のもと安全な運航を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【人権教育課】</p> <p>人権教育推進指導事業費</p>	<p>9,950 (11,882)</p> <p>－ 9,950</p>	<p>学校教育等における人権教育を推進するため、学校等における教育研究や指導者の養成を行う。また、地域社会が連携して人権教育を推進するための体制整備を行うとともに、重層的な課題を持つ児童生徒に対する地域ぐるみの取組を推進する。</p> <p>1 子ども輝き人権教育推進事業 2,899</p> <p>教育上重層的な課題があり、特に配慮が必要と認められる中学校区において、学校や家庭・地域・関係機関等が連携・協働し、子どもの人権が大切にされる環境を整備する。</p> <p>2 人権感覚あふれる学校づくり促進事業 250</p> <p>小学校等を中心に各校の人権教育のめざす目標を明確にし、その学習方法や指導方法の研究開発を行うとともに、校種を超えた学校、関係機関等との連携を通して人権感覚あふれる学校づくりを促進する。</p> <p>3 人権教育教職員実践サポート講座 305</p> <p>人権教育に関わる教職員の授業実践をサポートする講座を開催する。</p>
<p>人権教育総合推進費</p>	<p>98,036 (110,136)</p> <p>－ 98,036</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するための体制の整備・充実を図るとともに、市町等における人権教育諸活動の促進を図る。</p> <p>1 人権教育指導者研修会 139</p> <p>人権学習を推進するための地域におけるコーディネーターおよび社会教育関係団体の指導者を養成する。</p> <p>2 (財)滋賀県人権センター事業推進 33,225</p> <p>滋賀県人権センターの運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>3 人権教育研究事業推進 23,879</p> <p>滋賀県人権教育研究会の運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>4 地域総合センター職員設置費補助 30,318</p> <p>市町がセンターに置く教育担当職員の給与費を補助する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【生涯学習課】</p> <p>生涯学習推進事業費</p>	<p>11,859 (15,933)</p> <p>繰 2,635</p> <p>諸 250</p> <p>－ 8,974</p>	<p>いつでも、どこでも、だれでも主体的に学び、その成果を生かせるよう必要な支援を行い、生涯学習社会づくりの実現をめざす。</p> <p>1 淡海生涯カレッジ開設事業 992</p> <p>大学や高等学校、公民館等の学習機関が相互に連携・協力を図り、県民に広域的で体系的な学習機会を提供する。</p> <p>2 生涯学習推進基本構想策定事業 626</p> <p>「滋賀の生涯学習社会づくり基本構想」の策定のため、協議会を開催する。</p>
<p>女性教育振興費</p>	<p>1,000 (1,200)</p> <p>－ 1,000</p>	<p>滋賀県女性団体活動推進事業 1,000</p> <p>県内の女性団体が実施する、女性の地位向上や、豊かな地域づくりを図る事業に対し補助を行う。</p>
<p>市町等人権教育推進事業費</p>	<p>6,940 (8,504)</p> <p>－ 6,940</p>	<p>すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、地域ぐるみでの人権教育の充実に努める。</p> <p>1 市町人権教育推進協議会等事業補助 5,560</p> <p>市町人権教育推進協議会等の事業および人権教育推進員等の設置に対し補助を行う。</p> <p>2 県人権教育推進協議会事業補助 900</p> <p>人権意識の高揚と人権教育の推進を図るため、県人権教育推進協議会に対して補助を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明	明
子ども読書活動推進 事業費	1,062 (1,891)	子ども読書活動推進事業	1,062
	- 1,062	子ども読書活動に対する社会的気運を高める啓発や、学習講座の開催等により、子どもの読書活動の推進を図る。	
子どもを育む地域・ 家庭教育力推進事業 費	59,816 (65,583)	子どもを育てる環境づくりの総合的な推進のため、「子どもを育む地域・家庭教育力推進事業」を実施し、社会全体で子育てを支え合う気運の醸成に向けた取組を推進する。	
	国 48,294	1 家庭教育力の向上	1,916
	繰 3,082	子育て学習会等の実施、家庭教育協力企業協定制度を活用した企業における子育て環境づくり、「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動の推進等により、家庭の教育力の向上を図る。	
	諸 100	2 「地域の力を学校へ」推進事業	6,125
	- 8,340	「しが学校支援センター」を設置し、学校支援ディレクターの配置や、学校と地域を結ぶコーディネーター担当者新任研修等の実施により、豊富な知識や経験を持つ地域の様々な人々や企業・団体・NPO等が、学校を支援する仕組みづくりを推進する。	
		3 放課後子ども教室推進事業	9,443
		安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動などの取組を推進する。	
		4 学校支援地域本部事業	42,189
		小・中学校区単位に学校支援地域本部を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。	

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
青少年教育振興費	1,063 (350) 国 763 - 300	未来を担う青少年の育成事業に対する支援を行う。また、青少年の自然体験活動を推進するための指導者を養成する。 1 「中学生広場」開催事業 300 中学生が日頃の思いや意見を発表し、聞き合うことで、心のふれあいを広げるとともに、青少年の健全育成を図る事業に対し補助する。 新 2 自然体験活動指導者養成事業 763 青少年の自然体験活動を推進するため、子どもたちが安心・安全に体験活動を実施できるための指導者を養成する。
【県立図書館】 図書資料整備事業費	64,958 (70,945) 繰 6,013 ⊖ 58,945	図書資料の収集、整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。 1 図書資料等購入事業 55,390 2 近江デジタル歴史街道事業 4,008 当館所蔵の絵図・古文書等をデジタル化し、滋賀県立図書館デジタルアーカイブ「近江デジタル歴史街道」のサイトに登録し、広く県民が活用できるようにする。 新 3 貴重図書整備事業 2,005 当館文書庫で保管されてきた貴重図書の目録点検と、適正な保存に向けた処理を行う。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【スポーツ健康課】</p> <p>学校保健安全指導費</p>	<p>171,819 (162,892)</p> <p>国 4,966</p> <p>繰 4,188</p> <p>諸 53,095</p> <p>－ 109,570</p>	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康課題に対する指導の充実や健康管理強化を図るとともに、地域ぐるみで取り組む学校安全体制の整備を推進する。</p> <p>1 健康管理強化事業 156,149 県立中学校を始め、県立高校・特別支援学校の児童生徒の健康診断、学校環境衛生検査等を行う。</p> <p>2 学校安全体制整備推進事業 9,000 家庭や地域の関係機関・団体と連携し、地域社会全体で学校安全に取り組む体制の整備を図るためにスクールガードリーダーを学校巡回させて指導を行う。</p> <p>3 地域専門家総合連携事業 1,966 地域全体で学校保健活動を推進する体制整備を行う。</p>
<p>学校体育指導費</p>	<p>66,855 (115,439)</p> <p>国 12,998</p> <p>－ 53,857</p>	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくための基礎を培う学校体育・スポーツの充実を図る。</p> <p>1 中体連活動振興事業費補助 13,743 中学校体育大会の開催や全国大会等への派遣費に対し補助を行う。</p> <p>2 高体連活動振興事業費補助 37,611 高等学校体育大会の開催や全国大会等への派遣費に対し補助を行う。</p> <p>3 子どもの体力向上支援事業 3,686 子どもの体力向上に向けた検討会や学校における体育・健康に関する指導の改善につなげるためのプログラムを作成する。</p> <p>新 4 地域スポーツ人材活用事業 9,312 運動部活動・体育授業の指導に対して、優れた技能を有する地域の外部指導者を各学校へ派遣し、活用する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
学校給食指導費	711 (1,582) - 711	学校給食の普及充実・改善指導に努める。 湖っ子食育推進事業 182 児童生徒に正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身につけさせるため、学校を中心に児童生徒期からの体系的・継続的な職に関する指導の充実を図る。
スポーツ大会費	54,904 (62,568) - 54,904	本県の競技スポーツの向上と生涯スポーツの振興のため、各種の全国的規模の大会に選手を派遣する。 1 国民体育大会派遣経費補助 50,039 本県を代表し、第65回大会（千葉県等）に参加する選手や監督の派遣費に対し補助を行う。 2 国民体育大会近畿ブロック大会負担金 2,000 3 全国スポーツ・レクリエーション祭派遣経費補助 2,231 本県を代表し、富山県大会に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。
スポーツ団体育成費	69,291 (68,204) 緑 2,105 - 67,186	各種スポーツ団体の安定的な団体運営と事業実施を支援するとともに、本県のスポーツ振興にふさわしい各種競技大会を行う。 1 中学校体育連盟育成補助 5,675 中体連事務局の運営に要する経費に対し補助を行う。 2 高等学校体育連盟育成補助 5,658 高体連事務局の運営に要する経費に対し補助を行う。 3 県民総スポーツの祭典開催 5,000 県民体育大会と県民スポーツ・レクリエーション大会を統合した県民総スポーツの祭典の開催経費の一部を負担する。 4 びわ湖毎日マラソン大会開催 30,000 第66回びわ湖毎日マラソン大会（びわ湖レイクサイドマラソン大会開催含む）の開催経費の一部を負担する。 5 びわ湖大学駅伝大会開催 18,000 びわ湖大学駅伝大会の開催経費の一部を負担する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
スポーツ強化対策費	10,234 (33,234) - 10,234	次世代を担うジュニア選手の育成・強化に重点を置き、本県代表選手として、世界や全国の場で活躍できる競技者の育成を図る。 選手強化対策費補助事業 10,234
【文化財保護課】 文化財活用促進費	26,756 (15,136) 国 2,128 繰 22,489 - 2,139	県内各地に点在する文化財を活用することにより、地域づくりへの貢献や滋賀の歴史・文化の県内外への積極的な発信を図る。 1 近江水の宝調査活用事業 4,267 琵琶湖と水に関わる歴史文化資産を把握し、滋賀らしい優れたものを「近江水の宝」として広く周知し、地域資産としての価値の定着を図る。 新2 文化財緊急雇用創出事業 16,533 (1) 『滋賀県遺跡地図』刊行およびデータ整理事業 3,200 「滋賀県遺跡地図」の改定版の作成およびデータの整理を行う。 (2) 琵琶湖文化館写真資料整理事業 4,415 琵琶湖文化館が所蔵する写真資料をデジタルデータ化し、保存を図る。 (3) 活版印刷資料調査整理事業 8,918 琵琶湖文化館が保管する活版印刷資料について調査を実施し、調査カードの作成と写真資料を整備する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
遺跡保存整備事業費	<p>192,288 (144,658)</p> <p>財 1,892</p> <p>繰 70,554</p> <p>諸 117,008</p> <p>－ 2,834</p>	<p>地域開発と遺跡保存との調和を図りつつ、文化遺産の保存対策を講ずる。</p> <p>公共事業関連緊急発掘調査 189,454</p> <p>公共事業の円滑な推進を図るため、国土交通省等からの受託による公共事業関連発掘調査等を行う。</p>
文化財調査事業費	<p>4,927 (5,741)</p> <p>国 2,508</p> <p>－ 2,419</p>	<p>県内に所在する文化財の実態を調査し、保存策の検討や記録保存を行うとともに、指定など文化財の保存の促進と県民への活用を図る。</p> <p>1 古文書等詳細調査 2,350</p> <p>県内各地の社寺等に伝わる梵鐘や鯛口などの梵音具を調査し、保存策を講じるための資料を得る。</p> <p>2 特別天然記念物カモシカ生態調査 2,004</p> <p>特別天然記念物カモシカの保護のため、伊吹・比良および鈴鹿地区における生息調査を実施する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
文化財保護助成費	291,494 (288,467)	文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。
諸	190,741	1 指定文化財保存修理等補助事業 50,086
		(1) 文化財保存修理事業等に対する助成 32,613
—	100,753	国指定文化財保存修理等補助金 9件 18,267
		県指定文化財保存修理等補助金 3件 14,346
		(2) 市町教育委員会が行う個人住宅建設等に伴う発掘調査や埋蔵文化財分布調査等に対する助成
		埋蔵文化財発掘調査等補助金 16件 17,143
安土城考古博物館管理運営費	134,996 (135,365)	安土城考古博物館の魅力をさらに高めるため、城郭と考古をテーマとした展示、博物館の特色を活かした様々な啓発事業を行うなど、指定管理者である(財)滋賀県文化財保護協会に委託する。
使	1,151	
繰	6,000	
—	127,845	
琵琶湖文化館管理運営費	26,570 (23,150)	休館中の琵琶湖文化館に収蔵している国宝・重要文化財を含む収蔵品の安全かつ良好な管理を行うとともに、文化財調査や各種講座等を実施する。
繰	500	1 琵琶湖文化館管理費 24,676
		館蔵品修理 500
—	26,070	保存状態の悪い琵琶湖文化館の館蔵品の修理を行い、適切な保存と公開活用を図る。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>新2 「湖の国の名宝展」等開催事業 1,894</p> <p>琵琶湖文化館50周年を記念し、九州国立博物館（福岡県）において、琵琶湖文化館の収蔵品を対象とした展覧会「湖の国の名宝展」および滋賀県写真展「水と仏の近江」を開催する。</p>
<p>史跡観音寺城跡調査 ・整備事業費</p>	<p>2,000 (2,400)</p> <p>国 1,000</p> <p>— 1,000</p>	<p>史跡観音寺城跡の石垣の規模や危険度の詳細を把握するため、年次計画で悉皆調査を行い、写真とデータをカルテ化し、今後の適切な保存に必要な基礎資料を得る。</p> <p>石垣基礎調査 2,000</p>